

生ごみの減量・再資源化施策に関する市民説明会 概要

【上田城南地域】

1 開催概要

開催日時	令和6年10月28(月) 18:30~19:35	
開催場所	上田創造館 コミュニティーホール(大)	
出席者	市民	12名
	行政(市職員)	ごみ減量企画室職員4名 資源循環型施設建設関連事業課職員1名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	堆肥	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料効果の高い堆肥となるのか。 ・堆肥はどのように活用するのか。 ・先進地では堆肥を無料にしている自治体が多い。農業振興を目指すのであれば、堆肥はずっと無料にしてほしい。また、資源循環型施設建設候補地も負担を負っているため無料配布の対象としてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみだけではなく、牛ふんと混合することで、良質な堆肥を目指したい。 ・最初は地元の皆さまに無償で配布し、堆肥の有効性を検証していただく計画で、効果が認められれば将来的には販売を目指してまいりたい。 ・施設の維持管理にもお金がかかるため、堆肥による収入を考えている。購入したいと思われるような良質な堆肥を目指してまいりたい
2		副資材の牛ふんは畜産農家からいくらかで購入するのか。	価格は調整中であるが、3トン車で700円程度を想定している。
3	下水汚泥	・下水汚泥は清浄園や県外で焼却処理等しているが、焼却や運搬でのCO2発生を考慮すると、長和町のように生ごみと混合して堆肥化してはどうか。	良質な堆肥を目指しており、建設予定地の隣に牛舎もあることから、牛ふんと混合して堆肥化した。

4	収集範囲	丸子に施設を建設するのであれば、運搬コストを下げるためにも丸子地域の市街地を増やし、上田地域の市街地を少し縮小してはどうか。	自己処理が困難な地域として畑など農地が少ない上田中央地域を選定している。事業を進めていくうえで、生ごみの排出状況等により検証してまいりたい。
5	説明会	生ごみ堆肥施設の中身やフロー図などのイメージがあれば分かりやすい。	本施設は DBO 事業であり、落札した業者が設計・建設・運営を行うことになるため、現時点では資料 P23 ような概略イメージ図でご理解いただきたい。